Google Scholarで文献を探す

- 概要
- 設定
- 検索例
- 便利な機能

Google Scholar

● Googleによる学術文献専用の検索サービス



https://scholar.google.co.jp/

Google Scholar

仕組み

- Googleがウェブ上のあらゆる文献や文献情報をクロールして収集
- 基本的には文献情報データベース
 - 図書館サービスと連携し、大学の契約コンテンツにもアクセス可能
 - オープンアクセス論文や代替バージョンにもアクセス可能

注意点

- 多くの文献を素早く検索できるが、すべてではない
- Googleがクロールできないページや冊子体のみの文献もある

設定① 図書館リンク (推奨)



設定② Googleアカウント



設定③ 文献管理ツール



設定④ 言語



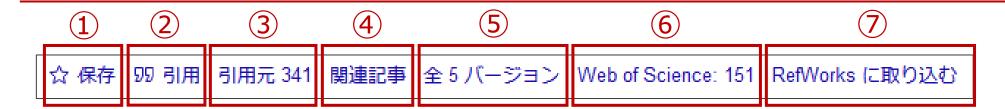
検索画面



検索結果

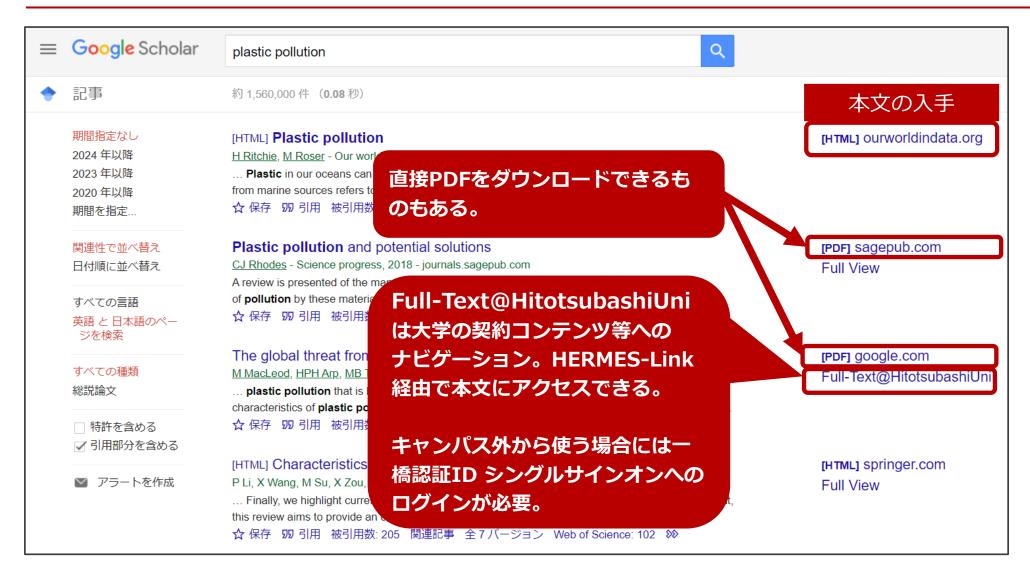


検索結果 (各種リンク)



- ① この文献をマイライブラリに保存
 - 図書館のMyLibraryではなく、Google Scholarの機能。Googleアカウントでのログインが必要。
- ② この文献を引用するときの文献情報を表示
- ③ この文献を引用している文献を表示(数字は被引用数)
- 4 この文献との関連性が高いと判断される文献を表示
- 5 この文献の別のバージョンを表示
- ⑥ この文献を引用している文献のうち、Web of Science Core Collection 収録文献を表示(数字は被引用数)
- ⑦ この文献を文献管理ツールに保存

本文の入手方法



検索のポイント① フレーズ検索ほか

- 論文のタイトルがわかっているときや、フレーズ検索では キーワードを""(ダブルクオーテーション)で囲む
 - 例① 論文のタイトルがわかっているとき
 "Plastic pollution in the South Pacific subtropical gyre"
 - 例② フレーズ検索したいとき"plastic pollution"
 - → 二つの単語のかたまりで検索するので、 例えば "plastic marine pollution" はヒットしない
- 複数形や語尾変化する単語を検索結果に含めたいときは、 語尾に* (アスタリスク)を付ける
 - 例 economy, economies, economicsなどを検索結果に含めたいとき
 econom*

検索のポイント② 検索オプション

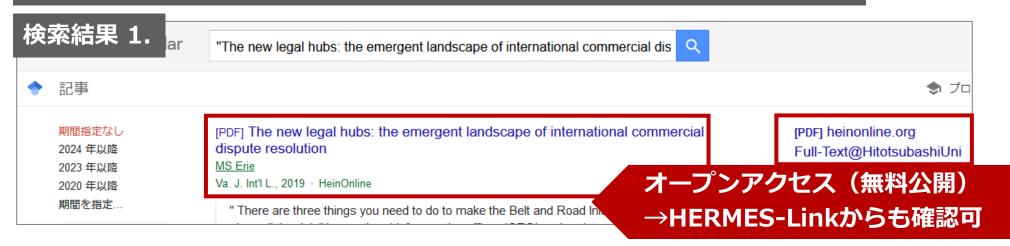


検索実習(サンプル)

- 次の論文をGoogle Scholarで検索し、本文PDFが入手できるかを確認する。
 - 1. Matthew S. Erie. (2019). **The new legal hubs: the emergent landscape of international commercial dispute resolution**. *Virginia journal of international law*, 60, 225-298.
 - 正高杜夫, 釘原直樹. (2015). 集団形成過程が内集団バイアスに及ぼす影響. 対人社会心理学研究,15,95-99.

解説:Google Scholarで論文を入手する

1・2ともに論文タイトル(の一部)をキーワードにして検索





「本文」の正体は?

- 大学の契約により見られるもの
 - Google Scholarでは図書館リンクでの連携が必要
 - 本文PDFにアクセスするには、キャンパス内から or キャンパス外からは一橋認証ID シングルサインオンへのログイン
- オープンアクセス(OA)になっているもの
 - ゴールドOA:出版社サイトで無料で公開されているもの
 - グリーンOA:機関リポジトリ等で無料で公開、バージョンに注意!
- プレプリントやワーキングペーパー
 - 査読誌への投稿前に公表される論文

他の文献データベースとの比較

Google Scholar 無料·一般公開

- 論文が特定できている場合は、上手く検索できる
- 本文まで検索するので検索結果が多い⇒ノイズも多い
- ◆ キーワード検索だと絞り込みが難しい?

CiNii Research 無料·一般公開

日本語論文に限るなら、研究データやプロジェクト情報を 合わせて効率的に検索できる

Web of Science

契約/キャンパス外からは ー橋認証ID SSOヘログイン データベースリストからアクセス

- 国際的な評価の高い厳選されたジャーナルを収録している
- 他の論文との引用関係の情報が充実
- まず読むべき資料の優先順位をつけやすい

HERMES-Search

無料/キャンパス外からは ー橋認証ID SSOヘログイン

- 図書館の蔵書や各種文献情報データベースを幅広く検索
- 一橋大学の所蔵情報との連携により、本文へのアクセスが スムーズ

Google Scholarボタン



Google Scholarボタン

